

令和2年度 板橋高次脳機能障がい関係者連絡会

日 時 令和2年 10月 6日 (火) 18時20分～20時00分

会 場 オンライン

次 第

司 会：會田玉美

18：20～

- ・板橋区地域自立支援協議会の説明 板橋区障がい政策課 資料1
- ・高次脳機能障がい部会令和元年度より今までの報告 板橋区障がい政策課 資料2
- ・高次脳機能障がい部会令和2年度の方針説明 高次脳機能障がい部会長 資料3
- ・高次脳機能障害者支援員連絡会(区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会)より報告 資料4

東京都心身障害者福祉センター、板橋区立障がい者福祉センター 3分

- ・高次脳機能障害支援普及事業について 資料5

区西北部高次脳機能障害支援普及事業 豊島病院

18：50～

- ・各事業所からの報告 事業紹介 イベントなどのお知らせ
- ・情報交換について (情報交換シートに基づき)
- ・令和2年度第2回 高次脳機能障がい部会の検討

19：30～新型コロナウイルス感染拡大による高次脳機能障害者への影響について 資料6

東京都心身障害者福祉センター 10分

19：55～ 事務局より連絡

- ・次 回 令和2年度 第1回「高次脳機能障がい部会」予定

日 時：令和3年 2月 日 () 18:20～

開 場：板橋区立グリーンホール2階ホール

- ・準備会 日時：令和2年 月 日 () 18:00～

会場：オンライン会議

※ ご参加いただける方は下記事務局までお知らせください。

<事務局> みんなのセンターおむすびときわの杜 担当 平田太一

住所〒170-0071 板橋区常盤台3-27-12

電話& F A X 03-5939-8994

Email：omusubi-tokiwa@tbz.t-com.ne.jp

参加者一覧

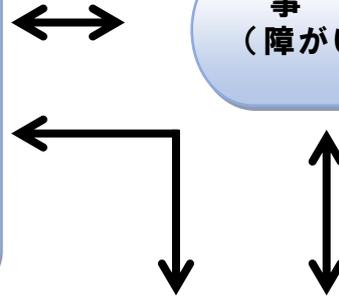
20201006いたばし高次脳機能障がい連絡会			
1	板橋区おとしより保健福祉センター	介護普及係	永井みどり
2	東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科	公認心理師	桑田 直弥
3	日本大学医学部附属板橋病院 医療福祉相談室	ソーシャルワーカー	野村 浩明
4	板橋リハビリ訪問看護ステーション	理学療法士	酒井由佳
5	ヒューマングロー板橋	生活支援員	近藤慶介
6	デイサービスおむすび		小林修二
7	中途障害をもつ人のデイサービスをつくろう会	代表	本山千恵子
8	高次脳機能障がい部会 目白大学 みんなのセンターおむすび	部会長 教授 理事長	會田玉美
9	竹川病院	作業療法士	天内將広
10	竹川病院	作業療法士	中村天花音
11	竹川病院	言語聴覚士	伊藤千夏
12	竹川病院	作業療法士	松丸智美
13	竹川病院	言語聴覚士	高橋捷平
14	東京都心身障害者福祉センター	地域支援課 高次脳機能障害者支援担当 課長代理	守矢亜由美
15	ときわの社		平田太一
16	板橋区障がい政策課	係長	田澤
17	板橋区障がい政策課		畑
18	板橋区障がい政策課		砂川
19	イムス板橋リハビリテーション病院	作業療法士	加藤早紀子
20	公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	医師	中島英樹
21	公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	MSW	柴崎健
22	公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	作業療法士	中澤史江
23	板橋区立障がい者福祉センター	相談支援専門員	石川直幸
24	板橋区立障がい者福祉センター	相談支援専門員	森笠怜美
25	板橋区立障がい者福祉センター	OT	潮昌子
26	板橋高次脳機能障がい家族会 みんなのセンターおむすび 家族会	家族	岡登喜子

板橋区地域自立支援協議会

協議会（本会）

☆相談支援事業の中立・公正な実施、関係機関の連携強化を図るため、板橋区における障がい福祉に関する仕組みづくりの中核的な役割を果たす。
 ☆15名の委員によって年3回程度開催

事務局（障がい者福祉課）



定例部会

会長が指名する部会長、部会長が指名する副部会長及び部会員（協議会本会委員及び障がい福祉に携わる関係者等）で構成される。

テーマ別に、活動計画を各部会で決定し開催する実務担当者による会。適宜、活動計画や活動実績等を本会に報告する。関係機関の連絡調整、情報交換、地域課題の共有、協働の確認、支援に係る人材の資質向上等を図る。

相談支援部会

——課題・活動——

相談支援体制の強化
 サービス等利用計画の適切な作成とモニタリングの実施

障がい児部会

——課題・活動——

乳幼児期から学齢期、青年期の切れ目のない支援
 放課後等デイサービス等事業者との連携

障がい当事者部会

——課題・活動——

地域生活支援充実のためのニーズ・課題の整理
 当事者活動でできること

就労支援部会

——課題・活動——

職場体験実習の場や雇用先の開拓・拡大
 各就労支援機関との連携

高次脳機能障がい部会

——課題・活動——

関係機関の連携、支援方法

権利擁護部会

——課題・活動——

区民・事業者への普及啓発
 差別事例及び合理的配慮の好事例の収集
 虐待事例の検討

課題 ニーズ

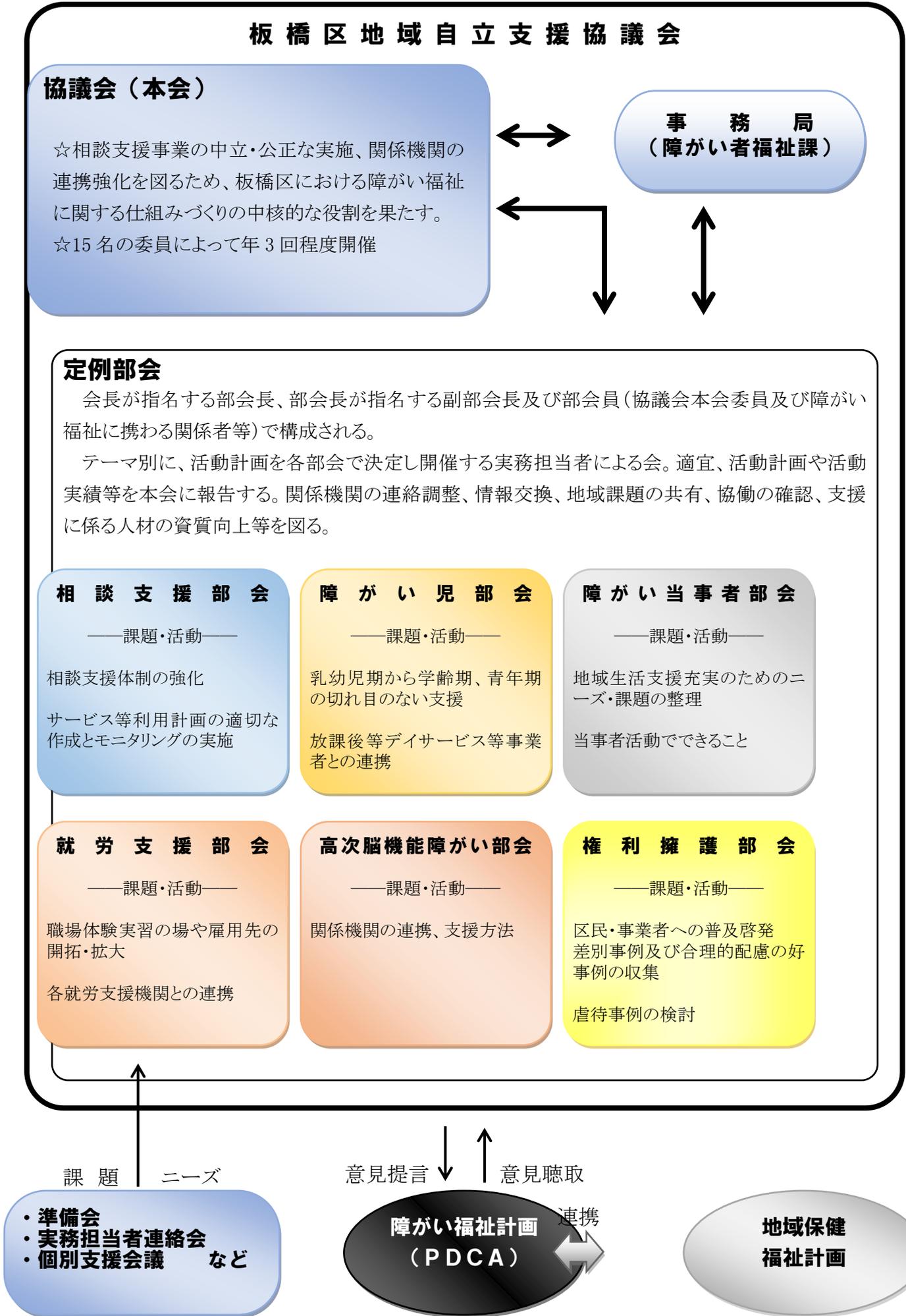
- ・準備会
- ・実務担当者連絡会
- ・個別支援会議 など

意見提言 ↑ 意見聴取

障がい福祉計画 (PDCA)

連携

地域保健福祉計画



部会名	令和元年度第 1 回高次脳機能障がい部会
日 時	令和元年 6 月 18 日（火） 18：20～20：20
場 所	グリーンホール 2 階ホール
参加者	76 名（医療関係者 32 名、福祉等支援者 29 名、当事者・家族 15 名）
<p>区西北部高次脳機能障害支援普及事業（豊島病院）と共催</p> <p>(1) 講演会</p> <p>講演①「家族会の意義 高次脳機能障害者の就労支援」 講師：高次脳機能障害者・遷延性意識障害者と家族の集い「なんてんの会」 会長 井上隆子氏</p> <p>（講演内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんてんの会で大事にしていること ・就労支援について① 高次脳機能障がい者を雇入れして ・就労支援について② 復職と再就職 <p><アンケートから></p> <ul style="list-style-type: none"> ○家での生活ばかり考えがちなので、積極的な社会参加活動の話はとても刺激になった。 ○「家族会は義務で参加するのではなく、楽しいところ、困った時に駆け込めるところ」というのが印象的だった。 ○技術ではなく人として成長して欲しいという言葉に改めて考えさせられた。 <p>講演②「私たちのホンネをきいてください！当事者からの景色」 「私たちのホンネをきいてください！家族からの景色」 講師：高次脳機能障害者・遷延性意識障害者と家族の集い「なんてんの会」 秋山良久氏、秋山道代氏</p> <p>（講演内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者、家族それぞれの視点で、受傷から受容し現在に至るまでの時系列と心情変化。 <p><アンケートから></p> <ul style="list-style-type: none"> ○当事者の辛さだけでなく、それを支える家族の辛さも聞けて勉強になった。 ○苦労や支え合い、不満、感謝といったリアルな本音を知れて良かった。 ○患者様との関わり方や支援方法について、改めて自分の言動を見直すきっかけとなった。 <p>(2) お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会員一覧表について ・今年度の部会について（年 6 回開催予定。内 2 回は講演会等、内 4 回は情報交換連絡会） <p>(3) 次回予定</p> <p>日時：令和元年 12 月 2 日（月） 18：20～ 場所：板橋区立グリーンホール 1 階ホール 内容：高次脳機能障がい者支援に携わる事業所、医療福祉関係者による「情報交換連絡会」</p>	

資料 2

部会名	令和元年度 第 2 回 高次脳機能障がい部会		
日 時	令和元年 12 月 2 日 (月) 18 : 20 ~ 20 : 30		
場 所	板橋区立グリーンホール 1 階ホール		
参加者	41 名 (医療関係者 21 名、福祉等支援者 18 名、当事者・家族 2 名)		
会議の公開 (傍聴)	公開	傍聴者数	2 人
<p>1 説明及び報告事項</p> <p>(1) 板橋区地域自立支援協議会の説明 (板橋区障がい者福祉課)</p> <p>(2) 平成 30 年度高次脳機能障がい部会の報告 (板橋区障がい者福祉課)</p> <p>(3) 令和元年度高次脳機能障がい部会の方針説明 (會田部会長)</p> <p>(4) 区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会の報告 (板橋区立障がい者福祉センター、東京都心身障害者福祉センター)</p> <p>(5) 高次脳機能障害支援普及事業について (区西北部高次脳機能障害支援普及事業 豊島病院 中島英樹医師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記 5 項目について、各括弧内の機関より説明及び報告を行った。 ・特に (3) において、高次脳機能障がい者の社会参加促進に向けた更なる連携を図るために、これまで行ってきた講演会、事例検討、事業所紹介といった内容に加えて、支援者間で情報交換を行う連絡会形式での部会を開催していく旨を報告した。 <p>2 情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所より、事業紹介と現状課題、及び情報シートを用いた連携事例の発表を行った。 <p>【主な課題・質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年の高次脳機能障がい者が親からの自立を考える際に、日中のサービスを受けられる場所が少ない。 ・失語症があるが身体症状に影響がない方が外来で失語症のリハビリを受けられる機関が少ない。 ・復職訓練時の就労移行支援や日中サービスの事業所の利用に苦勞する。 ・会社に籍のある高次脳機能障がい者の就労系サービスの利用について、国は許可しているが以前板橋区において断られた経緯がある。その点について、現在どのようになっているのか。 <p>→都心障：需要を鑑みて国もガイドラインを示したが、具体的な対応は各自治体に任せられている。</p> <p>→福祉課：支給決定を行っている福祉事務所の障がい者支援係と情報の共有をして検討したいと思う。</p> <p>【連携相談事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(医療機関→地域活動支援センター) 脳出血の後遺症で失語症、記名障がい、地誌的障がいを伴った状態で地活の利用を開始した。当初は後遺症に悩まされたが他利用者との交流がリハビリとなり、入院中は重い後遺症を予想された方が現在では目立った障がいは見られない状態となった。 ・(他自治体病院→区内病院) 転入に伴い、精神障害者保健福祉手帳を取得するための診断書が必要となった。当該患者は通院中の病院からは診断書作成を断られたとのことで区内病院にて診断書の作成を行った。 			

部会名	令和元年度 第3回 高次脳機能障がい部会
日 時	令和2年1月21日(火) 18:20~20:35
場 所	板橋区立文化会館4階 大会議室
参加者	53名(医療関係者19名、福祉等支援者25名、当事者・家族9名)

区西北部高次脳機能障害支援普及事業(豊島病院)と共催

(1) 事例検討会(事例発表、グループワーク、各グループより検討内容の発表)
(事例発表者:板橋区立障がい者福祉センター 石川直幸氏)
事例:復職を希望する高次脳機能障がい者
50代 男性(検討事例とする事について、ご本人、配偶者様のいずれもご了承済み。)
高次脳機能障がい(記憶障がい、遂行機能障がい、失語、失行)。
軽度の右片麻痺。動作はゆっくりであるが、ADL(日常生活動作)は自立している。

<主な検討内容>

- ・現在、復職期限まで残り11ヶ月の状況である。この先の支援の進め方として、パターンA~Cの内、どの支援が適当であると考えられるか。また、そう考えた理由は何か。
- ・当ケースの場合、医療、高齢、障がい部門においてどのような関わりが必要であると考えられるか。

<グループワーク、発表>

- ・配置転換含め、まずは復職先の企業と交渉する場が必要ではないか。その際、ご本人の状況を客観的に企業へ説明することの出来るジョブコーチやセラピストが同行すると良い。
- ・働く選択が本当に良いものなのか。改めて、ご本人の意思を確認しても良いのではないか。
- ・どのような立場で復職するかによって、作業も異なり、必要なプログラムも変わってくる。

<アンケート内容>

- ・それぞれの支援プランについてメリットデメリットが記載されていて、分かりやすかった。
- ・他機関の考え方や意見を聞くことが出来て有意義だった。自分の中で選択肢が増えた。
- ・支援の方向性を検討するために、ご本人の能力や意思について、より詳しく資料に記載していると更に分かりやすくて良いと思う。
- ・グループごとの検討や発表だけではなく、会場全体で共有し深めるものがあると良い。

(2) お知らせ(高次脳機能障がい部会より)

- ・部会員一覧表について、要望書の提出について、部会準備会について
- ・アンケート回答のお願い

(3) その他

- ・各関係機関より、家族会、フォーラム等の案内があった。

(4) 次回予定

日時:令和2年5月19日(火)午後6時20分から
場所:板橋区立グリーンホール 2階ホール
内容:高次脳機能障がい者支援に携わる事業所、医療福祉関係者による「情報交換連絡会」

1. 令和2年度の報告

第1回 COVID-19 感染拡大のため中止

板橋区地域自立支援協議会 高次脳機能障がい部会 板橋高次脳機能障がい関係者連絡会

日時：令和2年5月19日（火）午後6時20分から

場所：板橋区立グリーンホール 2階ホール

内容：高次脳機能障がい者支援に携わる事業所、医療福祉関係者による「情報交換連絡会」

本日 「新型コロナウイルス感染拡大の高次脳機能障害者への影響を把握する」

板橋高次脳機能障がい関係者連絡会 オンラインは区の事情で公式にまだできないため

日時：令和2年10月6日（火）18時20分～20時30分

会場：オンライン

内容：高次脳機能障がい者支援に携わる事業所、医療福祉関係者による「情報交換連絡会」

第1回「高次脳機能障がい部会」予定

概要 事例検討会

日時：令和3年 2月 日（ ）18:20～

開場：板橋区立グリーンホール2階ホールないしはオンラインミーティング

- ・事例報告
- ・グループ討議
- ・発表

令和2年度 高次脳機能障害部会の今後の方針

- ・令和2年度は2回開催する（高次脳機能障害支援者連絡会、事例検討会など）
- ・リアルタイム連携に資する取り組みに特化（区市町村高次脳機能障害者支援促進事業、区西北部高次脳機能障害支援普及事業との役割分担）有効な取り組み方法を探る
- ・オンライン部会および準備会の実施
- ・高次脳機能障害当事者および家族のリモート支援

区市町村高次脳機能障害者 支援促進事業 令和元年度実施報告

板橋区立障がい者福祉センター

相談支援

社会資源の
把握・開拓

高次脳機能障害者支援促進事業 4つの取り組み

関係機関等の連携

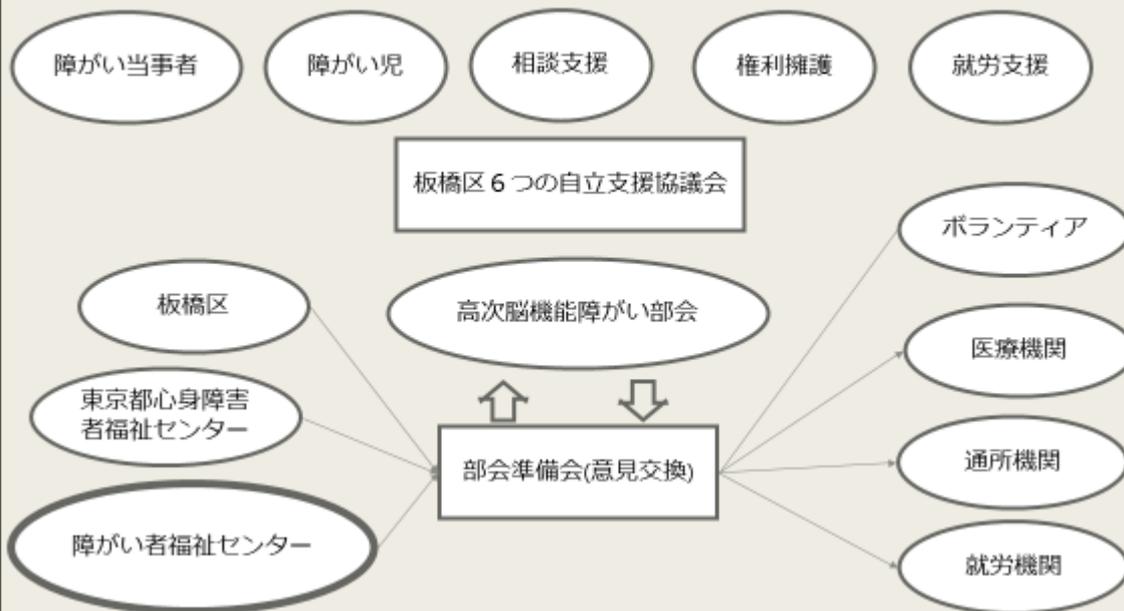
広報・普及啓発

18福保障計第1686号 平成19年4月9日参照

相談支援

	令和元年度	平成30年度
直接相談	21名 (内4名は契約)	8名 (内5名は契約)
電話相談	286件	83件

関係機関等の連携



社会資源の把握・開発



広報・普及啓発

主催

高次脳機能障がいセミナーを主催（後援：豊島病院）

【日時】令和元年 12月9日(月)14:00~16:00
 【講師】国立障害者リハビリテーションセンター
 今橋 久美子 主任研究官
 【内容】「わかりやすい高次脳機能障がい」

参加

板橋区立自立支援協議会 第三回高次脳機能障がい部会(事例検討会)
 事例提供者として参加
 【日時】令和2年 1月21日(火)18:20~20:35
 【内容】高次脳機能障がい者の復職までの過ごし方について

協力

板橋区失語症会話パートナー養成講座
 板橋区失語症若者の会：スイスイの会
 コミュニケーションサロンカナリア会

その他 ご連絡 令和2年度セミナー告知

【日時】 令和2年10月12日(月)
18:30~20:30(受付18:00~)
【場所】 板橋区立 グリーンホール601会議室
【内容】 「高次脳機能障がい者の理解と社会参加を促進するために」
【講師】 教授 會田 玉美氏
(目白大学大学院 リハビリテーション学研究科)

予約受付中
3550-3401

【日時】 令和2年11月16日(月) 18:30~20:30(受付18:00~)
【場所】 板橋区立 グリーンホール601会議室
【内容】 「高次脳機能障がい者の支援のポイントと
ネットワーク構築のために」
【講師】 教授 會田 玉美氏
(目白大学大学院 リハビリテーション学研究科)

10/17より
予約開始

令和2年度 区西北部 高次脳機能障害支援普及事業

令和2年10月6日

公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院

1

区西北部 高次脳機能障害支援普及事業

地域での高次脳機能障害者のリハビリの質の向上と関係機関等との連携を推進、切れ目のないリハビリを提供できる体制の充実を図る目的で以下の事業を実施

1. 専門相談

- 個別支援に対する相談、リハビリ技術等に関する助言・指導
- 高次脳機能障害の診断、専門的評価および専門医療機関等の紹介

2. コーディネータの設置

- 専門的なコーディネーターを設置し、コーディネーターが主体となり、圏域内の関係機関との連携や、医療機関や地域援助事業所等関係機関に対する高次脳機能障害への理解促進・連携体制の強化の働きかけを行う。

3. 症例検討会の実施

- スキル向上を図るため、当事者ニーズに沿った具体的な支援方法を検討

4. 専門職への研修の実施

- 専門的知識・技術等の向上を図るため研修を実施。

5. 圏域連絡会等の実施

- 本事業に関する情報提供や意見交換を行う。

区西北部 高次脳機能障害支援普及事業 圏域連絡会メンバー

- 板橋区：障がい者福祉課、障がい者福祉センター
- 豊島区：心身障害者福祉センター
- 北区：障害者福祉センター
- 練馬区：心身障害者福祉センター
- 東京都：福祉保健局 精神保健医療課
心身障害者福祉センター地域支援課
- 豊島病院：リハDr、PT、OT、ST、MSW、事務局

3

専門相談

区西北部 高次脳機能障害支援 相談窓口のご案内

豊島病院では、東京都の委託を受け、平成26年4月より高次脳機能障害の支援者及び支援機関向けの相談を受け付けています。※当事業の方からの相談の対応は、お問い合わせに応じて異なります。

相談内容の一例

- 高次脳機能障害への対応について
- 高次脳機能障害の適切な診断・評価について
- 利用できる社会資源について

高次脳機能障害に関するご相談に対し、

- 医師 ● 医療ソーシャルワーカー
- 理学療法士 ● 作業療法士
- 言語聴覚士 ● 言語聴覚士

等が対応させていただきます。

対象者

豊島区・北区・板橋区・練馬区で高次脳機能障害の支援に携わっている医療機関、行政機関、福祉・介護等関係事業所の方々

相談窓口

豊島病院 地域医療連携室 高次脳機能障害支援 相談窓口

メール又はFAX、ホームページの会員専用ページ（無料）よりお問い合わせください。

- メールアドレス：toshima_koujinou@tokyo-hmt.jp
- FAX番号：03-5944-3534
- 区西北部高次脳機能障害支援普及事業ホームページ <https://www.toshima-hp.jp/higherbrain/index.html>

区西北部 高次脳機能障害支援 相談窓口
（印刷）東京医療福祉出版 豊島病院 地域医療連携室 電話（代表）03-5379-1234 内線2210

相談対応アドバイザー：

リハビリ科医師
理学療法士
作業療法士
言語聴覚士
医療ソーシャルワーカー

相談内容：

疾病・障害について
状態の変化について
機能維持リハビリ
医学的判断などについて
生活・社会復帰や福祉制度について
その他

4

コーディネーターの設置

- 圏域内の関係医療機関との連携体制強化の働きかけを行うため、板橋区・豊島区・北区・練馬区の4区に担当のコーディネーター（PT・OT・ST・MSW）を設置しています。



5

講演会・研修会

- 今年度は新型コロナウイルスのため、集合形式での講演会・研修会の主催開催はしていません。
- 来年2月を目途に、オンライン形式での講演会を実施する予定です。
(詳細決まりましたら、ご案内いたします)

圏域連絡会等の実施・参加

- 区西北部 高次脳機能障害支援普及事業 圏域連絡会
(令和2年7月に資料送付の形式で開催)
- 板橋区地域自立支援協議会 高次脳機能障がい部会準備会
(令和2年7月10日 オンライン開催)
- 練馬区高次脳機能障害支援連絡会
(令和2年7月20日、9月25日)
- 北区・豊島区についても連絡会が開催され次第参加予定。

各区担当コーディネーターが参加

「高次脳機能障害普及事業ホームページ」のご紹介



ホームページアドレス
<https://www.toshima-hp.jp/higherbrain/>

区西北部の各区別（板橋、北、豊島、練馬）の各種手続き窓口リーフレットも印刷できます！



令和 2 年 10 月 6 日 板橋高次脳機能障がい関係者連絡会

情報提供 【新型コロナウイルス感染拡大の高次脳機能障害者にもたらした影響について】

東京都心身障害者福祉センター 守矢

□就労している方

- ・誰よりも先に在宅勤務となった（とても不本意）
在宅勤務で行う仕事はほとんど（全く）なく、1 日 2 回の検温と体調報告だけ
このまま解雇（退職）となってしまうのではと、毎日不安だった
- ・内定取り消しされた
- ・新規就労がさらに難しくなった

□就労移行支援事業所

- ・就労されている当事者から在宅になったと連絡があり、2, 3 日に 1 回連絡をしていた。
（不安な気持ちを聞いていた）
- ・事業所も一定期間通所等できなくなり、当事者の方へは電話で日々対応していた
訪問が大丈夫な方は訪問していた（訪問を断られるケースもあった）
- ・評価が中断してしまった

□失語症の人

- ・コロナ感染症のことを何度も説明等しても、マスクの必要性、外出ができないことを理解してもらえず、マスクをしない、交通機関を利用して出かけてしまうということが多々あった。
（高次脳機能障害で失語症がない方でも理解してもらえなかったという声もあった）

□通所事業所

- ・やっと通所が安定してきた方が、自粛期間があり、通所が始まる前の状態に戻ってしまった
- ・作業が手順を追ってできるようになったのに、再開したらできなくなっていた
- ・通所が始まったばかりで自粛となり、家へ訪問していたが、のちに断られ、電話も繋がらなくなり、音信不通になってしまった方がいる
- ・一般交通を使わずに通所できる人のみ通所可となり、通所の人同士でも差ができてしまった

□家族

- ・家族がコロナの理解が薄く、本人をあちこちに連れ出してしまう

□その他

- ・コロナ感染症とは別の疾患等で入院した方、保護者がキーパーソンで本人にとってはそばにいてほしい人だったのに、面会に行くことも保護者は出来ず、当事者の方はとても不安な日々であった
- ・入所予定の方が入院中（コロナ感染症とは別）だったので、本人の ADL 等の確認等含め面談する予定だったができず、本人の状態を確認するまでに時間がかかり入所がかなり後ろに日程がずれた
（動画をとってもらい ADL 等は確認した）